

第7回 市長とジェンダーミーティング 開催報告

日 時：令和6年7月25日(木) 13時30分から15時15分

会 場：市民活動センター1F 多目的ホール

参加者：総合政策部長、協働・男女平等参画室長、企業・市民団体等20名、事務局5名

≪第1部≫

●総合政策部長挨拶

皆さんこんにちは、総合政策部の町田でございます。本日は市長に代わり御挨拶を申し上げますと思います。

まずはお忙しい中、第7回市長とジェンダーミーティングに御参加いただきまして誠にありがとうございます。また、日頃から本市の男女平等参画の推進に御理解と御協力いただいておりますことに関しまして感謝を申し上げますところでございます。

さて、本日は高齢者雇用をメインにジェンダーミーティングを進めて参りたいと考えてございますが、改正高年齢者雇用安定法が令和3年4月に施行され、来年4月からは65歳までの雇用確保が義務化されるところでございます。さらに、70歳までの就業機会の確保についても努力義務となるところでございます。厚生労働省公表の令和5年度の「高年齢者雇用状況等報告」によりますと、65歳までの雇用確保の実態として、約7割の企業が継続雇用制度を導入し、約3割の企業が定年の引き上げを行っているところでございます。また一方で、70歳までの就業確保についての実施状況につきましては、まだ約3割にとどまっているところでございます。高齢者雇用につきましては、生産年齢人口が減少する中、働き手の確保という意味合いからも今後進める必要がある取組であると考えているところでございます。

本日は、定年の引き上げや定年以降の再雇用の取組のほか、女性活躍などダイバーシティ推進に取り組まれております株式会社トリドールホールディングスの古川 雅代（ふるかわ まさよ）様を講師としてお招きしているところでございます。

この講演会をきっかけに、高齢者雇用やワーク・ライフ・バランスが推進され、誰もが自分らしく生き生きと暮らせる、住みやすいまち、苦小牧となっていくことを期待しているところでございます。

最後になりますが、本日、御参加していただきました皆様に心から感謝を申し上げまして、冒頭の御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく申し上げます。

●ダイバーシティ&ワーク・ライフ・バランス講演会「高齢者雇用とダイバーシティ経営」

講師：株式会社トリドールホールディングスハピネスカルチャー推進部長 古川雅代 氏

《第2部》

●グループディスカッション

各自が新たに気付いたことや感想についてグループ内で共有

●行動宣言

事務局が参加者の行動宣言を読み上げる

メンバー1 私はまずは任せて見守ります。	メンバー9 私は社内の健康増進とひとり一人が楽しめる環境を整えます。
メンバー2 私は今回のトリドール group のお話を受けて、今も続けている職員が笑顔でハッピーな気持ちを持ち、生涯現役！！自分の出来ること探しが出来るよう高齢者を大事にする職場にしたいです。	メンバー10 私は働きやすい制度を設計し、働く人を支え続けます。
メンバー3 私はモチベーション向上につながる職場環境のアイデアを考えます。	メンバー11 私は社内の定年引上げを検討するため、今日のグループワークやトリドール様の取り組みを参考にさせていただきます。
メンバー4 私は高齢者が誇りとやりがいを持って働ける制度や施策を検討していきます。	メンバー12 私は役割見直しをします。
メンバー5 私は定年制度の改善を強く求めます。高齢になっても働きたいという意欲を持っている人々には雇用の場を紹介して高齢者が笑顔で一生をすごせる町（苫小牧）にしたいです。	メンバー13 私は会員募集に尽力します。
メンバー6 私は会社も本人も元気である事が雇用につながると思っています。	メンバー14 私は今、元気に働いている方を大事に見守っていきます。
メンバー7 私は地域での交流推進に取り組み声を聞き、一人でも雇用につながる事ができると良いと思います。	メンバー15 私は当社の定年制度を見直します。
メンバー8 私は高齢者の方にもやりがいを持って働き続けていただけるようニーズを傾聴し、求職者の方の支援をします。	メンバー16 私は就労を希望する高齢者の方々によりそい、お仕事をご提案させていただきます。

●講師からの講評

皆様、お席に入らせていただきありがとうございました。僭越ではございますが、講評ということで一言お話をさせていただきます。

お話聞かせていただく中で、年齢の上限を撤廃したいとか、これからさらに高年齢の方が弊社でも働いていくことになるんですけれども、その備えが出来ているかだとか、そういったお声もありました。他の同じ飲食業界で、マクドナルドさんとかすかいらくさんとかも年齢上限の撤廃されているんですけれども、そういった企業さんとこれから対話を重ねながら、業種としていかに高年齢層の方々に活躍できる場を提供できるか、業界全体で考えていかないと改めて考えさせていただきました。

定年制度の見直しをしますとか、定年制度の改善をというお声も結構ありますので、ますます高年齢層の方々が活躍できる職場環境を作るとともに、働きたい方は働いていただけるような職場環境を作ることが企業としては大事ななと思っています。最初に選択するのは御自身なんですけれども、そういった環境を作っていくように弊社も引き続き環境改善とやりがいのある職場環境というのを作っていきたいと改めて感じさせていただきました。本日はどうもありがとうございました。

●総合政策部長より感想

本日は皆さんありがとうございました。私もテーブル回らせていただき、皆さんの話を聞いて、若い方の意見を聞きながら仕事していくのが一番いいのかなと今日皆さんの御意見や講師のお話を聞いて感じたところでございます。

苫小牧市としては現在、年間 2,200 人位の方が亡くなって出生が 900 人切っている状況です。確実に毎年 1,000 人強の人口減少が今後続いていく状況になりますので、産業の町として雇用をどう確保していくかということが大きな課題ですので、そのために外国人の雇用もありますけれども、高齢者の方に引き続き働いていただくということが一番課題解決に近づくことだと感じておりますので、今後も皆さんからいただいた意見を参考に、行政として何ができるのか考えながら、市民のための市政に取り組んでまいりたいと思っておりますし、今後も男女平等参画の啓発に汗をかいてまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いたします。本日はありがとうございました。

●事務局から連絡事項

皆様、ありがとうございました。

最後に、事務局から皆様にお願とお知らせがございます。

市長とジェンダーミーティングでは、メンバーの皆様から外部への発信の御協力をお願

いしております。SNS などでの発信や、職場での報告、同僚との雑談や、家族との会話の中で本日の会議について話題にするなど、今日感じたこと、得たものを、身近なところからアウトプット・発信をお願いいたします。これが、苫小牧市全体に変革をもたらすことができる、イノベーションを起こせる会議としての第一歩となると考えておりますので、よろしくお願いいたします。

併せて、お手元に御用意しておりますアンケートへの御回答をお願いいたします。本日参加してみての感想と併せて、どのようなアウトプットを行ったか、アウトプットをしてみたの反応はどうだったかなどを御記入いただき、次回の市長とジェンダーミーティングまでに御提出ください。QRコードからも御回答いただけますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

次回の開催につきましては、近くになりましたら御連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。以上で、第7回市長とジェンダーミーティングを終了いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。